

クリンテートSKの効果確認試験



ゴリラ



ゴリラ



SK



SK



スカーレット



スカーレット

試験目的

クリンテートSKの効果確認試験

試験作物 及び品種

ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートSK(0.1mm×740cm×43m)

慣行資材

ゴリラ(0.075mm×740cm×43m)
スカーレット(0.1mm×740cm×43m) (試験)

栽培方法

定植日

6月13日

資材使用期間

6月上旬～11月中旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業性については、特に違いはなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

10月下旬に確認した時点では特段違いはなかった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

現行品は、0.075mm厚で問題なく展張している(1年～2年使用)。試験品は0.1mmなので問題はない。

(4)促成・抑制効果について

ゴリラ・クリンテートSK・スカーレットを比較したが、特段違いはなかった。

(5)保温効果について

視察日(7月24日)は、快晴で外気温約30℃を超えていたが、体感ではクリンテートSKが一番涼しく、次いでスカーレット、ゴリラの順であった。

(6)雑草・病害虫の発生について

不明。

モニター感想

ゴリラ・クリンテートSK・スカーレットと比較展張したが、収穫量については特段差はなかった。夏の気温が高い時期については、ハウス内の体感温度はクリンテートSK>スカーレット>ゴリラの順で涼しかった。ス

カーレットについては、ハウス内が赤みがるので、収穫物の色を見ながら収穫する際は若干の注意が必要と思われる。3種類のフィルムについて、保温性が必要な時期、温度上昇抑制が必要な時期と様々であるため、品種や収穫時期によって、使い分けが必要があると思われる。クリンテートSKについては、6月定植の作型に向いているのではないかとと思われる。

JA担当者の感想(購買部 宮本部長)

地球温暖化の影響もあり、今後は遮熱用フィルムの需要が増えると思われる。より安価で、展張作業性や耐久性の良い資材を求めたい。

今後の使用について

外張用フィルムに0.075mm厚を使用している(1～2年の使用)ので、クリンテートSKについても更に肉薄で低コストのフィルムになるよう改善してほしい。

将来希望する資材について

薄くて強度・透明性を維持した低コスト外張用フィルム。